

大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区のまちづくりについて（まちづくり基本構想 概要版）

基本構想のコンセプト

○医療・福祉・健康に関する機能の促進と多世代交流づくり

町立大淀病院跡地周辺エリアを、住民の健康交流拠点として位置づけ、医療・福祉・健康に関する機能を集約するとともに、その他のエリアも含めて、子育て世代から高齢者まで幅広い世代の住民が交流できる場や観光客等も集まれる場とすることで、住民にとって“この場所に来れば誰かと交流できる”町のシンボリックな場所とすることを旨とする。

○地域資源を活かした観光と交流の拠点づくり

近鉄下市口駅周辺エリア及び町立大淀病院跡地周辺エリアを観光と交流の拠点として位置づけ、県南部の玄関口としてふさわしい駅周辺や交通結節機能の整備、吉野川の眺望を活かした、県南部観光の拠点となる集客施設の整備等を行う。また、下淀商店街周辺エリア及び吉野川周辺エリアもあわせて、各種イベント活動や、地域住民の積極的なまちづくり活動への支援などのソフト事業を推進し、町内外の人々が交流する空間や仕掛けづくりを行うことで町外からの交流人口の増加につなげる。

基本方針

- 医療・福祉・健康の機能集約
- 来訪者及び地域住民の交流の場として整備

- 吉野郡の観光の玄関口としてふさわしい交通機能の確保
- 駅前での賑わいの創出

- 空地、空家を活用した地域活性化

- 河川空間における賑わいづくり

まちづくり基本構想図（案）

